平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　滋賀県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合病院	2
-	小児保健医療センター	3
-	精神医療センター	4
大津市	大津市民病院	5
彦根市	彦根市立病院	6
長浜市	市立長浜病院	7
長浜市	長浜市立湖北病院	8
近江八幡市	近江八幡市立総合医療センター	9
守山市	守山市民病院	10
甲賀市	信楽中央病院	11
野洲市	市立野洲病院	12
高島市	高島市民病院	13
東近江市	東近江市立能登川病院	14
公立甲賀病院組合（事業会計分）	公立甲賀病院	15

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	
病院名	総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	90,746 ㎡	指定病院の状況	救臨が　地
診療科数	30	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	535	77.8	78.3	81.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	535	77.8	78.3	81.8
平均在院日数（一般病床のみ）		14.4	13.9	14.0

設立団体の状況

人口 (人)		1,412,916
決算規模 (千円)		508,238,077
標準財政規模 (千円)		331,724,245
財政力指数		0.56352
経常収支比率 (%)		95.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.3
	将来負担比率 (%)	200.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.0
修正医業収支金額 (千円)	13,533,886

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,861,447	2,085,781
資本勘定繰入	523,623	523,623
計	2,385,070	2,609,404

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	87.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,561,005			
1 経常収益	16,551,163			
(1) 医業収益	14,552,248			
① 入院収益	9,071,318			
② 外来収益	4,141,024			
診療収入計	13,212,342			
③ その他医業収益	1,339,906			
(うち他会計負担金)	1,018,362			
(2) 医業外収益	1,998,915			
(うち国・都道府県補助金)	51,860			
(うち他会計補助・負担金)	1,067,419			
(うち長期前受金戻入)	154,362			
(うち資本費繰入収益)	502,762			
(3) 特別利益	9,842			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,092,216			
2 経常費用	17,385,285			
(1) 医業費用	16,507,873			
① 職員給与費	7,172,279	49.3	55.9	50.2
② 材料費	4,153,349	28.5	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,161,520	14.9	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,991,829	13.7	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,762,139	12.1	9.2	8.3
④ 経費	3,190,921	21.9	23.2	20.7
(うち委託料)	1,167,336	8.0	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	91,794			
⑥ 資産減耗費	137,391			
(2) 医業外費用	877,412			
(うち支払利息)	255,826	1.8	1.7	1.5
(3) 特別損失	706,931			
損益 経常損益	-834,122			
損益 純損益	-1,531,211			
累積欠損金	16,488,325			
経常収支比率	95.2		98.0	99.7
医業収支比率	88.2		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	83.2		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	41,929,567
1 固定資産	33,519,156
(1) 有形固定資産	32,332,292
(2) 無形固定資産	8,586
(3) 投資その他の資産	1,178,278
2 流動資産	8,410,411
(1) 現金及び預金	5,617,856
(2) 未収金及び未収収益	2,754,435
(3) 貸倒引当金 (△)	22,674
(4) 貯蔵品	60,794
3 繰延資産	-
負債合計	35,540,572
1 固定負債	27,755,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,021,491
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,734,415
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,083,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,723,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	589,763
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,652,420
(9) 前受金及び前受収益	40,184
3 繰延収益	2,700,860
(1) 長期前受金	4,579,168
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,878,308
資本合計	6,388,995
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,026,096
(1) 資本剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,183,724
負債・資本合計	41,929,567
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	
病院名	小児保健医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,970 ㎡	指定病院の状況	臨
診療科数	9	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	100	66.2	73.2	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	66.2	73.2	75.6
平均在院日数（一般病床のみ）		10.3	11.3	11.7

設立団体の状況

人口 (人)		1,412,916
決算規模 (千円)		508,238,077
標準財政規模 (千円)		331,724,245
財政力指数		0.56352
経常収支比率 (%)		95.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.3
	将来負担比率 (%)	200.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	74.1
修正医業収支金額 (千円)	2,153,682

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	669,160	708,310
資本勘定繰入	96,953	96,953
計	766,113	805,263

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	87.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,984,713			
1 経常収益	2,984,713			
(1) 医業収益	2,538,205			
① 入院収益	1,273,494			
② 外来収益	755,560			
診療収入計	2,029,054			
③ その他医業収益	509,151			
(うち他会計負担金)	384,523			
(2) 医業外収益	446,508			
(うち国・都道府県補助金)	10,723			
(うち他会計補助・負担金)	323,787			
(うち長期前受金戻入)	7,780			
(うち資本費繰入収益)	95,871			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,986,846			
2 経常費用	2,986,846			
(1) 医業費用	2,905,124			
① 職員給与費	1,369,499	54.0	55.9	59.8
② 材料費	394,103	15.5	24.0	17.7
(うち薬品費)	230,926	9.1	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,322	5.9	11.1	8.0
③ 減価償却費	112,041	4.4	9.2	10.4
④ 経費	983,748	38.8	23.2	31.2
(うち委託料)	222,500	8.8	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	15,762			
⑥ 資産減耗費	29,971			
(2) 医業外費用	81,722			
(うち支払利息)	3,903	0.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-2,133			
損益 純損益	-2,133			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		98.0	96.3
医業収支比率	87.4		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	27.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	23.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	76.2		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	41,929,567
1 固定資産	33,519,156
(1) 有形固定資産	32,332,292
(2) 無形固定資産	8,586
(3) 投資その他の資産	1,178,278
2 流動資産	8,410,411
(1) 現金及び預金	5,617,856
(2) 未収金及び未収収益	2,754,435
(3) 貸倒引当金 (△)	22,674
(4) 貯蔵品	60,794
3 繰延資産	-
負債合計	35,540,572
1 固定負債	27,755,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,021,491
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,734,415
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,083,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,723,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	589,763
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,652,420
(9) 前受金及び前受収益	40,184
3 繰延収益	2,700,860
(1) 長期前受金	4,579,168
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,878,308
資本合計	6,388,995
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,026,096
(1) 資本剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,183,724
負債・資本合計	41,929,567
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	
病院名	精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,398 ㎡	指定病院の状況	臨
診療科数	4	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	123	79.3	75.7	71.9
感染症	-	-	-	-
計	123	79.3	75.7	71.9
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		1,412,916
決算規模 (千円)		508,238,077
標準財政規模 (千円)		331,724,245
財政力指数		0.56352
経常収支比率 (%)		95.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.3
	将来負担比率 (%)	200.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	63.1
修正医業収支金額 (千円)	1,278,268

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	694,354	716,670
資本勘定繰入	51,431	51,431
計	745,785	768,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	87.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,145,688			
1 経常収益	2,145,688			
(1) 医業収益	1,516,837			
① 入院収益	980,333			
② 外来収益	239,618			
診療収入計	1,219,951			
③ その他医業収益	296,886			
(うち他会計負担金)	238,569			
(2) 医業外収益	628,851			
(うち国・都道府県補助金)	8,652			
(うち他会計補助・負担金)	478,101			
(うち長期前受金戻入)	67,629			
(うち資本費繰入収益)	50,805			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,094,660			
2 経常費用	2,094,660			
(1) 医業費用	2,024,816			
① 職員給与費	1,303,697	85.9	55.9	94.3
② 材料費	126,451	8.3	24.0	8.8
(うち薬品費)	91,330	6.0	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,101	1.3	11.1	1.1
③ 減価償却費	182,411	12.0	9.2	12.6
④ 経費	404,332	26.7	23.2	33.3
(うち委託料)	180,671	11.9	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	6,752			
⑥ 資産減耗費	1,173			
(2) 医業外費用	69,844			
(うち支払利息)	26,197	1.7	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	51,028			
損益 純損益	51,028			
累積欠損金	288,319			
経常収支比率	102.4		98.0	100.2
医業収支比率	74.9		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	33.4		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	68.2		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	41,929,567
1 固定資産	33,519,156
(1) 有形固定資産	32,332,292
(2) 無形固定資産	8,586
(3) 投資その他の資産	1,178,278
2 流動資産	8,410,411
(1) 現金及び預金	5,617,856
(2) 未収金及び未収収益	2,754,435
(3) 貸倒引当金 (△)	22,674
(4) 貯蔵品	60,794
3 繰延資産	-
負債合計	35,540,572
1 固定負債	27,755,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,021,491
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,734,415
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,083,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,723,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	589,763
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,652,420
(9) 前受金及び前受収益	40,184
3 繰延収益	2,700,860
(1) 長期前受金	4,579,168
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,878,308
資本合計	6,388,995
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-10,026,096
(1) 資本剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-16,183,724
負債・資本合計	41,929,567
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	大津市
病院名	大津市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	82.9	73.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	81.5	71.3
平均在院日数（一般病床のみ）		-	11.0	11.2

設立団体の状況		
人口 (人)		340,973
決算規模 (千円)		111,394,246
標準財政規模 (千円)		68,527,257
財政力指数		0.82
経常収支比率 (%)		88.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.8
	将来負担比率 (%)	16.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	74,480
資本勘定繰入	-	217,092
計	-	291,572

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	272,514			
1 経常収益	272,514			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	272,514			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	74,480			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	272,514			
2 経常費用	272,514			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	55.2
② 材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.5
④ 経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	272,514			
(うち支払利息)	272,514	-	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	27.3		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	72.7		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	彦根市
病院名	彦根市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,772 ㎡	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	26	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	424	78.1	71.2	73.3
療養	-	-	-	-
結核	10	4.9	3.7	7.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	438	75.7	69.1	71.3
平均在院日数（一般病床のみ）		13.2	14.2	15.2

設立団体の状況

人口 (人)		113,679
決算規模 (千円)		44,296,931
標準財政規模 (千円)		23,905,293
財政力指数		0.79
経常収支比率 (%)		94.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.2
	将来負担比率 (%)	46.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	94.9
修正医業収支金額 (千円)	10,348,440

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	612,367	618,615
資本勘定繰入	642,742	1,205,109
計	1,255,109	1,823,724

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	27,899	0.3
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	117.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,239,081			
1 経常収益	11,239,081			
(1) 医業収益	10,444,238			
① 入院収益	6,952,554			
② 外来収益	3,093,971			
診療収入計	10,046,525			
③ その他医業収益	397,713			
(うち他会計負担金)	95,798			
(2) 医業外収益	794,843			
(うち国・都道府県補助金)	31,505			
(うち他会計補助・負担金)	522,817			
(うち長期前受金戻入)	55,384			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,056,853			
2 経常費用	11,652,322			
(1) 医業費用	10,901,910			
① 職員給与費	5,636,195	54.0	55.9	55.2
② 材料費	2,627,849	25.2	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,365,507	13.1	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,262,342	12.1	11.1	12.3
③ 減価償却費	790,784	7.6	9.2	8.5
④ 経費	1,811,554	17.3	23.2	19.0
(うち委託料)	1,050,826	10.1	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	22,582			
⑥ 資産減耗費	12,946			
(2) 医業外費用	750,412			
(うち支払利息)	204,284	2.0	1.7	1.6
(3) 特別損失	404,531			
損益 経常損益	-413,241			
損益 純損益	-817,772			
累積欠損金	12,247,041			
経常収支比率	96.5		98.0	98.4
医業収支比率	95.8		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	91.1		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	15,453,303
1 固定資産	13,539,941
(1) 有形固定資産	13,068,566
(2) 無形固定資産	262,437
(3) 投資その他の資産	208,938
2 流動資産	1,913,362
(1) 現金及び預金	82,793
(2) 未収金及び未収収益	1,745,119
(3) 貸倒引当金 (△)	5,373
(4) 貯蔵品	86,844
3 繰延資産	-
負債合計	14,790,781
1 固定負債	11,239,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,100,289
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	88,136
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,605,260
(7) リース債務	445,578
2 流動負債	2,444,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	976,445
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,681
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	354,794
(6) リース債務	204,915
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	750,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,106,615
(1) 長期前受金	1,716,482
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	609,867
資本合計	662,522
1 資本金	12,587,571
2 剰余金	-11,925,049
(1) 資本剰余金	321,992
(2) 利益剰余金	-12,247,041
負債・資本合計	15,453,303
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	長浜市
病院名	市立長浜病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	47,436 ㎡	指定病院の状況	救臨が　輪
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	496	63.7	65.2	66.5
療養	104	50.7	57.4	57.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	600	61.5	63.9	65.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.1	13.0	13.2

設立団体の状況

人口 (人)		118,193
決算規模 (千円)		54,262,104
標準財政規模 (千円)		34,061,344
財政力指数		0.56
経常収支比率 (%)		90.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.4
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.6
修正医業収支金額 (千円)	11,480,357

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	827,356	827,356
資本勘定繰入	761,738	458,578
計	1,589,094	1,285,934

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	46.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,598,221			
1 経常収益	12,598,221			
(1) 医業収益	11,526,833			
① 入院収益	7,667,619			
② 外来収益	3,631,942			
診療収入計	11,299,561			
③ その他医業収益	227,272			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	1,071,388			
(うち国・都道府県補助金)	23,450			
(うち他会計補助・負担金)	780,880			
(うち長期前受金戻入)	61,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,651,837			
2 経常費用	13,651,837			
(1) 医業費用	12,955,783			
① 職員給与費	6,654,118	57.7	55.9	50.2
② 材料費	3,287,139	28.5	24.0	27.7
(うち薬品費)	1,558,916	13.5	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,633,313	14.2	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,027,568	8.9	9.2	8.3
④ 経費	1,946,959	16.9	23.2	20.7
(うち委託料)	690,548	6.0	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	34,845			
⑥ 資産減耗費	5,154			
(2) 医業外費用	696,054			
(うち支払利息)	236,433	2.1	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-1,053,616			
損益 純損益	-1,053,616			
累積欠損金	5,575,933			
経常収支比率	92.3		98.0	99.7
医業収支比率	89.0		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	86.2		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	22,533,066
1 固定資産	15,790,560
(1) 有形固定資産	15,380,105
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	408,603
2 流動資産	6,742,506
(1) 現金及び預金	2,241,544
(2) 未収金及び未収収益	2,569,512
(3) 貸倒引当金 (△)	15,532
(4) 貯蔵品	47,622
3 繰延資産	-
負債合計	17,649,378
1 固定負債	13,501,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,099,411
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,402,565
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,008,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,123,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	497,130
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,324,077
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,138,938
(1) 長期前受金	3,162,750
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,023,812
資本合計	4,883,688
1 資本金	9,763,292
2 剰余金	-4,879,604
(1) 資本剰余金	73,856
(2) 利益剰余金	-4,953,460
負債・資本合計	22,533,066
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	長浜市
病院名	長浜市立湖北病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,159 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ　輪
診療科数	18	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	96	68.8	61.7	62.8
療養	57	78.8	79.0	79.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	153	72.5	68.2	69.0
平均在院日数（一般病床のみ）		14.1	14.7	13.6

設立団体の状況

人口 (人)		118,193
決算規模 (千円)		54,262,104
標準財政規模 (千円)		34,061,344
財政力指数		0.56
経常収支比率 (%)		90.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.4
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.8
修正医業収支金額 (千円)	2,127,658

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	364,327	357,257
資本勘定繰入	94,298	80,400
計	458,625	437,657

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	46.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,637,265			
1 経常収益	2,637,265			
(1) 医業収益	2,252,694			
① 入院収益	1,235,018			
② 外来収益	810,844			
診療収入計	2,045,862			
③ その他医業収益	206,832			
(うち他会計負担金)	125,036			
(2) 医業外収益	384,571			
(うち国・都道府県補助金)	6,950			
(うち他会計補助・負担金)	232,221			
(うち長期前受金戻入)	55,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,765,274			
2 経常費用	2,765,274			
(1) 医業費用	2,665,535			
① 職員給与費	1,621,710	72.0	55.9	59.8
② 材料費	349,043	15.5	24.0	17.7
(うち薬品費)	160,878	7.1	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	163,470	7.3	11.1	8.0
③ 減価償却費	235,378	10.4	9.2	10.4
④ 経費	443,012	19.7	23.2	31.2
(うち委託料)	248,648	11.0	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	6,173			
⑥ 資産減耗費	10,219			
(2) 医業外費用	99,739			
(うち支払利息)	27,494	1.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-128,009			
損益 純損益	-128,009			
累積欠損金	858,827			
経常収支比率	95.4		98.0	96.3
医業収支比率	84.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	13.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	82.5		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	22,533,066
1 固定資産	15,790,560
(1) 有形固定資産	15,380,105
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	408,603
2 流動資産	6,742,506
(1) 現金及び預金	2,241,544
(2) 未収金及び未収収益	2,569,512
(3) 貸倒引当金 (△)	15,532
(4) 貯蔵品	47,622
3 繰延資産	-
負債合計	17,649,378
1 固定負債	13,501,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,099,411
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,402,565
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,008,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,123,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	497,130
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,324,077
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,138,938
(1) 長期前受金	3,162,750
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,023,812
資本合計	4,883,688
1 資本金	9,763,292
2 剰余金	-4,879,604
(1) 資本剰余金	73,856
(2) 利益剰余金	-4,953,460
負債・資本合計	22,533,066
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	近江八幡市
病院名	近江八幡市立総合医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,937 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	20	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	403	93.2	89.8	88.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	407	92.2	88.9	88.4
平均在院日数（一般病床のみ）		9.6	10.0	9.9

設立団体の状況		
人口 (人)		81,312
決算規模 (千円)		33,943,388
標準財政規模 (千円)		17,842,679
財政力指数		0.68
経常収支比率 (%)		90.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	3.5
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	100.6
修正医業収支金額 (千円)	12,154,333

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,049,737			
1 経常収益	13,049,737			
(1) 医業収益	12,407,132			
① 入院収益	8,747,769			
② 外来収益	3,089,171			
診療収入計	11,836,940			
③ その他医業収益	570,192			
(うち他会計負担金)	252,799			
(2) 医業外収益	642,605			
(うち国・都道府県補助金)	32,949			
(うち他会計補助・負担金)	381,608			
(うち長期前受金戻入)	62,028			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,868,201			
2 経常費用	12,868,201			
(1) 医業費用	12,087,222			
① 職員給与費	6,217,275	50.1	55.9	55.2
② 材料費	2,987,036	24.1	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,501,074	12.1	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,485,962	12.0	11.1	12.3
③ 減価償却費	881,573	7.1	9.2	8.5
④ 経費	1,947,270	15.7	23.2	19.0
(うち委託料)	1,351,575	10.9	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	46,874			
⑥ 資産減耗費	7,194			
(2) 医業外費用	780,979			
(うち支払利息)	213,920	1.7	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	181,536			
損益 純損益	181,536			
累積欠損金	4,077,045			
経常収支比率	101.4		98.0	98.4
医業収支比率	102.6		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	96.5		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	20,960,079
1 固定資産	14,273,576
(1) 有形固定資産	13,840,104
(2) 無形固定資産	4,051
(3) 投資その他の資産	429,421
2 流動資産	6,686,503
(1) 現金及び預金	4,672,593
(2) 未収金及び未収収益	1,978,075
(3) 貸倒引当金 (△)	5,206
(4) 貯蔵品	41,041
3 繰延資産	-
負債合計	16,725,380
1 固定負債	13,589,058
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,189,615
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,399,443
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,586,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,120,631
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,159,388
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	550,079
(1) 長期前受金	1,054,138
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	504,059
資本合計	4,234,699
1 資本金	8,309,452
2 剰余金	-4,074,753
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,074,753
負債・資本合計	20,960,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,407	634,407
資本勘定繰入	525,950	525,950
計	1,160,357	1,160,357

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	32.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	守山市
病院名	守山市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,260 ㎡	指定病院の状況	救臨　輪
診療科数	18	看護配置	１０：１
許可公営企業	許可	経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	111	78.3	81.9	79.7
療養	88	87.9	90.6	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	82.6	85.7	84.5
平均在院日数（一般病床のみ）		19.7	18.9	19.7

設立団体の状況

人口 (人)		79,859
決算規模 (千円)		26,657,126
標準財政規模 (千円)		16,310,749
財政力指数		0.86
経常収支比率 (%)		91.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.4
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	92.2
修正医業収支金額 (千円)	2,615,640

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	344,275	373,275
資本勘定繰入	198,705	204,375
計	542,980	577,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	86.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	769,892
地財法上の資金不足比率 (%)	27.8

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,210,536			
１ 経常収益	3,123,615			
（1）医業収益	2,767,380			
① 入院収益	1,530,545			
② 外来収益	888,672			
診療収入計	2,419,217			
③ その他医業収益	348,163			
（うち他会計負担金）	151,740			
（2）医業外収益	356,235			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	221,535			
（うち長期前受金戻入）	109,010			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	86,921			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,764,169			
２ 経常費用	2,986,030			
（1）医業費用	2,837,006			
① 職員給与費	1,754,158	63.4	55.9	59.8
② 材料費	404,764	14.6	24.0	17.7
（うち薬品費）	168,877	6.1	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	228,627	8.3	11.1	8.0
③ 減価償却費	223,071	8.1	9.2	10.4
④ 経費	447,558	16.2	23.2	31.2
（うち委託料）	219,373	7.9	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	2,908			
⑥ 資産減耗費	4,547			
（2）医業外費用	149,024			
（うち支払利息）	44,500	1.6	1.7	1.8
（3）特別損失	778,139			
損益 経常損益	137,585			
損益 純損益	-553,633			
累積欠損金	2,392,164			
経常収支比率	104.6		98.0	96.3
医業収支比率	97.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	11.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	92.1		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,641,335
１ 固定資産	2,989,887
（1）有形固定資産	2,972,169
（2）無形固定資産	1,380
（3）投資その他の資産	16,338
２ 流動資産	1,651,448
（1）現金及び預金	1,247,489
（2）未収金及び未収収益	408,247
（3）貸倒引当金（△）	4,859
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	4,820,417
１ 固定負債	2,627,010
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,850,210
（2）その他の企業債	776,800
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	1,908,987
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,447
（2）その他の企業債	194,200
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	100,000
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	1,347,381
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	284,420
（1）長期前受金	2,720,896
（2）長期前受金収益化累計額（△）	2,436,476
資本合計	-179,082
１ 資本金	2,190,749
２ 剰余金	-2,369,831
（1）資本剰余金	22,333
（2）利益剰余金	-2,392,164
負債・資本合計	4,641,335
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	179,082
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	甲賀市
病院名	信楽中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,244 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	40	57.3	54.4	56.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	57.3	54.4	56.1
平均在院日数（一般病床のみ）		21.3	20.6	21.3

設立団体の状況

人口 (人)		90,901
決算規模 (千円)		41,271,241
標準財政規模 (千円)		24,413,716
財政力指数		0.70
経常収支比率 (%)		90.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.0
	将来負担比率 (%)	74.0

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	72.3
修正医業収支金額 (千円)	623,866

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	148,274	187,712
資本勘定繰入	34,831	34,831
計	183,105	222,543

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	84.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	835,324			
１ 経常収益	835,324			
（１）医業収益	665,066			
① 入院収益	202,381			
② 外来収益	387,289			
診療収入計	589,670			
③ その他医業収益	75,396			
（うち他会計負担金）	41,200			
（２）医業外収益	170,258			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	146,512			
（うち長期前受金戻入）	18,254			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	901,366			
２ 経常費用	899,263			
（１）医業費用	863,390			
① 職員給与費	495,760	74.5	55.9	79.3
② 材料費	232,692	35.0	24.0	16.1
（うち薬品費）	205,550	30.9	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,268	3.2	11.1	5.0
③ 減価償却費	44,648	6.7	9.2	13.7
④ 経費	87,306	13.1	23.2	42.9
（うち委託料）	51,003	7.7	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	849			
⑥ 資産減耗費	2,135			
（２）医業外費用	35,873			
（うち支払利息）	11,533	1.7	1.7	1.5
（３）特別損失	2,103			
損益 経常損益	-63,939			
損益 純損益	-66,042			
累積欠損金	562,884			
経常収支比率	92.9		98.0	95.6
医業収支比率	77.0		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	72.0		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,267,936
１ 固定資産	955,071
（１）有形固定資産	955,071
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	312,865
（１）現金及び預金	203,367
（２）未収金及び未収収益	102,796
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	6,693
３ 繰延資産	-
負債合計	1,077,800
１ 固定負債	571,168
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	563,527
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	7,641
（７）リース債務	-
２ 流動負債	121,994
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,001
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	28,434
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	43,819
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	384,638
（１）長期前受金	511,461
（２）長期前受金収益化累計額（△）	126,823
資本合計	190,136
１ 資本金	261,195
２ 剰余金	-71,059
（１）資本剰余金	460,319
（２）利益剰余金	-531,378
負債・資本合計	1,267,936
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	野洲市
病院名	市立野洲病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		49,889
決算規模 (千円)		20,299,016
標準財政規模 (千円)		12,247,891
財政力指数		0.83
経常収支比率 (%)		94.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.9
	将来負担比率 (%)	104.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	3,473	6,946
計	3,473	6,946

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1			
1 経常収益	1			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	-
② 材料費	-	-	24.0	-
(うち薬品費)	-	-	12.4	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
③ 減価償却費	-	-	9.2	-
④ 経費	-	-	23.2	-
(うち委託料)	-	-	11.2	-
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	-
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	1			
損益 純損益	1			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.0	104.5
医業収支比率	-		88.4	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	100.0
実質収益対経常費用比率	-		85.9	-

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,183,280
1 固定資産	1,130,452
(1) 有形固定資産	1,130,452
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	52,828
(1) 現金及び預金	52,828
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,124,320
1 固定負債	1,123,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,073,000
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	50,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,130
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	190
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	58,960
1 資本金	6,946
2 剰余金	52,014
(1) 資本剰余金	52,013
(2) 利益剰余金	1
負債・資本合計	1,183,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	高島市
病院名	高島市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,789 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
診療科数	18	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	206	82.9	84.3	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	210	81.3	82.7	77.7
平均在院日数（一般病床のみ）		14.2	15.0	14.9

設立団体の状況

人口 (人)		50,025
決算規模 (千円)		28,322,474
標準財政規模 (千円)		16,864,184
財政力指数		0.39
経常収支比率 (%)		94.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	43.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	84.3
修正医業収支金額 (千円)	4,286,080

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,276	627,000
資本勘定繰入	23,265	23,265
計	739,541	650,265

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	69.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,139,675			
1 経常収益	5,138,617			
(1) 医業収益	4,397,191			
① 入院収益	2,597,915			
② 外来収益	1,480,227			
診療収入計	4,078,142			
③ その他医業収益	319,049			
(うち他会計負担金)	111,111			
(2) 医業外収益	741,426			
(うち国・都道府県補助金)	19,675			
(うち他会計補助・負担金)	515,889			
(うち長期前受金戻入)	169,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,058			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,329,348			
2 経常費用	5,243,367			
(1) 医業費用	5,084,927			
① 職員給与費	2,487,586	56.6	55.9	59.2
② 材料費	904,751	20.6	24.0	19.6
(うち薬品費)	486,779	11.1	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	376,105	8.6	11.1	9.2
③ 減価償却費	453,907	10.3	9.2	10.4
④ 経費	1,218,412	27.7	23.2	27.3
(うち委託料)	450,232	10.2	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	13,088			
⑥ 資産減耗費	7,183			
(2) 医業外費用	158,440			
(うち支払利息)	27,792	0.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	85,981			
損益 経常損益	-104,750			
損益 純損益	-189,673			
累積欠損金	3,054,894			
経常収支比率	98.0		98.0	96.1
医業収支比率	86.5		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	86.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	6,724,008
1 固定資産	5,403,434
(1) 有形固定資産	5,283,789
(2) 無形固定資産	1,913
(3) 投資その他の資産	117,732
2 流動資産	1,320,574
(1) 現金及び預金	530,582
(2) 未収金及び未収収益	760,329
(3) 貸倒引当金 (△)	851
(4) 貯蔵品	28,003
3 繰延資産	-
負債合計	3,917,954
1 固定負債	1,606,066
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,606,066
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	428,361
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,416
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	160,689
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	210,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,883,527
(1) 長期前受金	3,168,485
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,284,958
資本合計	2,806,054
1 資本金	5,534,847
2 剰余金	-2,728,793
(1) 資本剰余金	326,101
(2) 利益剰余金	-3,054,894
負債・資本合計	6,724,008
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	東近江市
病院名	東近江市立能登川病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,203 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	16	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	102	70.8	63.3	40.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	102	70.8	63.3	40.8
平均在院日数（一般病床のみ）		16.9	16.3	14.8

設立団体の状況		
人口 (人)		114,180
決算規模 (千円)		48,485,832
標準財政規模 (千円)		29,953,629
財政力指数		0.65
経常収支比率 (%)		88.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.9
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	34,216	137,987
資本勘定繰入	106,305	62,013
計	140,521	200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	145,373			
1 経常収益	145,373			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	145,373			
(うち国・都道府県補助金)	346			
(うち他会計補助・負担金)	137,987			
(うち長期前受金戻入)	6,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,312			
2 経常費用	140,939			
(1) 医業費用	84,951			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	78,161	-	9.2	10.4
④ 経費	3,809	-	23.2	31.2
(うち委託料)	1,050	-	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	2,981			
(2) 医業外費用	55,988			
(うち支払利息)	51,397	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	373			
損益 経常損益	4,434			
損益 純損益	4,061			
累積欠損金	183,137			
経常収支比率	103.1		98.0	96.3
医業収支比率	-		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	94.9		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	94.9		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	5.2		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,164,601
1 固定資産	1,922,283
(1) 有形固定資産	1,909,307
(2) 無形固定資産	3,295
(3) 投資その他の資産	9,681
2 流動資産	242,318
(1) 現金及び預金	239,199
(2) 未収金及び未収収益	3,511
(3) 貸倒引当金 (△)	392
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,375,411
1 固定負債	991,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	986,418
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,859
(7) リース債務	-
2 流動負債	210,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,054
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	174,116
(1) 長期前受金	416,126
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	242,010
資本合計	789,190
1 資本金	966,327
2 剰余金	-177,137
(1) 資本剰余金	6,000
(2) 利益剰余金	-183,137
負債・資本合計	2,164,601
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	滋賀県
市町村・組合名	公立甲賀病院組合（事業会計分）
病院名	公立甲賀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,343 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	32	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	409	87.4	79.9	77.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	413	86.5	79.2	76.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.8	11.8

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	93.1
修正医業収支金額 (千円)	9,411,692

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	891,939	772,798
資本勘定繰入	405,205	249,985
計	1,297,144	1,022,783

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,813,653			
1 経常収益	10,810,300			
(1) 医業収益	9,591,435			
① 入院収益	6,037,255			
② 外来収益	2,950,478			
診療収入計	8,987,733			
③ その他医業収益	603,702			
(うち他会計負担金)	179,743			
(2) 医業外収益	1,218,865			
(うち国・都道府県補助金)	31,887			
(うち他会計補助・負担金)	593,055			
(うち長期前受金戻入)	311,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,353			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,002,363			
2 経常費用	11,002,363			
(1) 医業費用	10,110,992			
① 職員給与費	5,333,399	55.6	55.9	55.2
② 材料費	2,107,754	22.0	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,181,997	12.3	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	836,217	8.7	11.1	12.3
③ 減価償却費	969,105	10.1	9.2	8.5
④ 経費	1,649,511	17.2	23.2	19.0
(うち委託料)	874,683	9.1	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	46,505			
⑥ 資産減耗費	4,718			
(2) 医業外費用	891,371			
(うち支払利息)	130,086	1.4	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-192,063			
損益 純損益	-188,710			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.3		98.0	98.4
医業収支比率	94.9		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	91.2		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	18,309,410
1 固定資産	12,470,883
(1) 有形固定資産	11,474,391
(2) 無形固定資産	8,062
(3) 投資その他の資産	988,430
2 流動資産	5,838,527
(1) 現金及び預金	3,909,336
(2) 未収金及び未収収益	1,855,321
(3) 貸倒引当金 (△)	61,673
(4) 貯蔵品	135,543
3 繰延資産	-
負債合計	10,148,975
1 固定負債	7,833,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,827,401
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,687
2 流動負債	1,330,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,063
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	345,735
(6) リース債務	4,697
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	654,078
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	985,866
(1) 長期前受金	2,919,873
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,934,007
資本合計	8,160,435
1 資本金	4,077,949
2 剰余金	4,082,486
(1) 資本剰余金	1,889,270
(2) 利益剰余金	2,193,216
負債・資本合計	18,309,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。